

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【公開番号】特開 2005-25767 (P2005-25767A)
 【公開日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-004
 【出願番号】特願 2004-198460 (P2004-198460)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

G 0 6 F 13/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/38 3 5 0

G 0 6 F 13/16 5 1 0 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 3 日 (2007.7.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

バス接続を介して接続された装置内のセルにアクセスするための方法であって、
 該バス接続では、データ信号を供給する少なくとも 1 つのデータ線路と、クロック信号を供給する少なくとも 1 つのクロック信号とが設けられており、
 バスに接続された装置を装置アドレスによって識別し、
 第 1 の装置は、バス接続をセットアップするために開始条件 (S) を形成し、後続の通信においてマスタとなり、
 該マスタによって、第 2 の装置を装置アドレスによって選択し、
 該第 2 の装置は、後続の通信にてスレーブとなり、
 【数 1】

該マスタによって、読み出しまたは書き込み (R/W) の伝送モードを選択し、

通信が成功した後、該マスタによって、バス通信を終了する終了条件 (P) を形成する形式の方法において、
 該マスタによって、スレーブをアドレッシングした後にデータモード信号を送信し、
 前記データモード信号には、セルアドレスバイトの数と、その後送信すべきデータバイトの数とに関する情報が含まれており、
 その後、アドレスセル信号 (ADD()) が後続し、
 該マスタは前記データモード信号に従って、スレーブへデータを送信し、および / またはスレーブからデータ (DATA()) を受信することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記データモード信号およびアドレスセル信号 (ADD()) の伝送後、スレーブにデータを書き込み、および / またはスレーブからデータ (DATA()) を読み出す、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

所定の数のビットが受信された後、各受信装置によって肯定応答信号 (A) を出す、請

求項 1 記載の方法。